

## 令和5年度 活動計画書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット

### 今年度の目標

有明海と森との栄養塩の「循環」を学習し、活動する

(SDGs 該当目標 ( 14, 15 ) 海の豊かさを守ろう 陸の豊かさを守ろう)

2022-2023年度の有明海湾奥部のノリ養殖は2000年漁期以来の大規模な色落ち被害が発生し、例年の半分の生産枚数にとどまり、19年間続けてきた生産枚数日本一の座を兵庫県に譲り2位に甘んずることが明らかになっています。その原因は、養殖ノリがプランクトンとの栄養塩の取り合いに敗れたことに寄ることは明白ですが、プランクトンを捕食する二枚貝のサルボウ貝が湾奥部ではほぼ絶滅したことが被害を大きくしたものと思われます。現時点で、有明海における栄養塩の循環を促し、有明海環境を健全なものにする方法は二枚貝の増殖以外は現実的ではなく、特に牡蠣礁復活しかありません。当法人が8年間続けてきた牡蠣礁復活のための「竹切・竹立て」事業を今年も実施して、有明海環境の改善に寄与します。

佐賀県が進めている「森川海っ人プロジェクト」は森・川・海を人がつなぐことを目的としています。嘉瀬川上流部の富士町で活動する団体との交流を実施し、森・川・海の「循環」のメカニズムを学ぶとともに、相互の事業を連結した新たな観光資源の開発を目指します。

#### ①有明海の魅力を探り、広報する活動

##### ※定例会

定例会：隔月1回（奇数月第2木曜日）基調講話と討議

##### ※東よか干潟交流塾

東よか干潟ビジターセンター・NPO 法人有明海ぐるりんネット・佐賀大学浅海域プロジェクト協働による市民向け教養講座として開催

隔月1回（偶数月第4土曜日）基調講演と意見交換会

#### ②有明海の新たな魅力創生に寄与する活動

##### ※森・川・海の循環を学ぶ交流会

ぐるりんネット、嘉瀬川交流軸、嘉瀬川ダム推進協議会のメンバーによる地域保全・利活用・観光事業化等についての意見交流会を富士町宿泊施設にて実施

##### ※牡蠣礁復活竹切り作業・竹立て作業

有明海の水環境改善に有効な牡蠣礁復活を目指して、中流域で厄介者となっている竹を切って有明海干潟に立て込む作業を行なう

#### ③情報発信

##### ※公式サイトの充実

## 2. 活動の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動にかかる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益者対象の範囲及び人数	支出額 (千円)
①有明海に関連した環境教育及び生涯教育に関する事業	有明海ぐるりんネット 通常定例会	原則として隔月1回 (第2木曜)	MIZ・P-CSR 研究所 佐賀市民 活動プラザ	6	会員 20 県内・県外 (関係者)	30
	出張定例会  東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」 コラボ 東よか干潟交流塾	未定  隔月1回 (第4土曜)	東よか干潟 ビジターセンター	6	県内・県外 各25名程度	
②有明海沿岸域の地域連携及び地域づくりに関連する事業	森・川・海の循環を学ぶ 地域交流会 ぐるりんネット 嘉瀬川交流軸 嘉瀬川ダム推進協議会	9月23日 (土)～ 9月24日 (日)	佐賀市富士 町宿泊施設 SAGAFURUYU CAMP	20	会員 20 交流関係者 30名程度	140
	カキ礁復元 竹切り出し作業 嘉瀬川交流軸 ぐるりんネット共催	6月4日 (日)	佐賀市 水ものがたり館周辺	15	県内、県外 (不特定) 50名程度	20
	カキ礁復元 竹立て作業 嘉瀬川交流軸 ぐるりんネット共催	7月29日 (土)	佐賀県 有明海 海域	15	県内、県外 (不特定) 50名程度	40
③有明海及び有明海沿岸域の生活、文化、観光等の向上、振興に関する事業	公式サイト更新作業	4月～	佐賀県 福岡県	5	国内外 (不特定)	60